

# 法適合に違反は一発不合格

令和3年7月21日公表された課題の注意書き「(注)建築基準法令等に適合した建築物の計画(採光、建蔽率、容積率、高さの制限、延焼のおそれのある部分、防火区画、避難施設、等)とする。」に関して、下記の項目でポイントを解説する。

- 【注意(1)】 採光のミス修正と補足 ←解説内容
- 【注意(2)】 建蔽率・容積率
- 【注意(3)】 高さの制限
- 【注意(4)】 延焼のおそれのある部分
- 【注意(5)】 防火区画
- 【注意(6)】 避難施設
- 【注意(7)】 等(消防法)

# 有効開口面積の計算例

## 有効開口面積の計算例

### ① 必要採光面積

居室面積  $7\text{ m}^2$  より

$$7\text{ m}^2 \times 1/7 = 1\text{ m}^2$$

### ② 採光補正係数

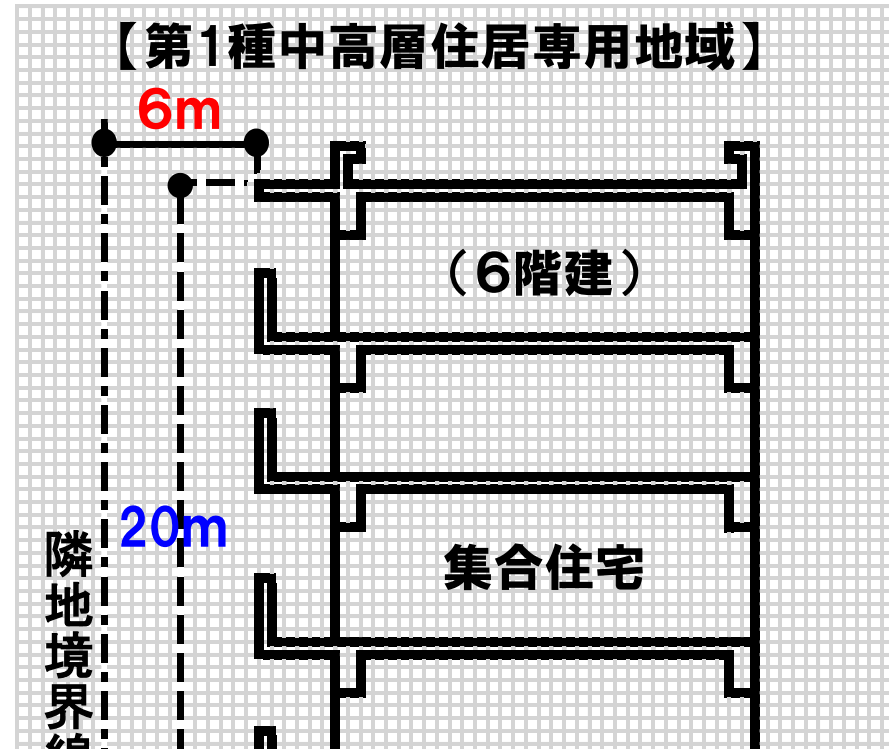
必要採光面積  $1\text{ m}^2$  より

$$(6/20) \times 6 - 1 = 0.8$$

### ③ 有効開口面積

開口面積  $2\text{ m}^2$  より

$2\text{ m}^2 >$



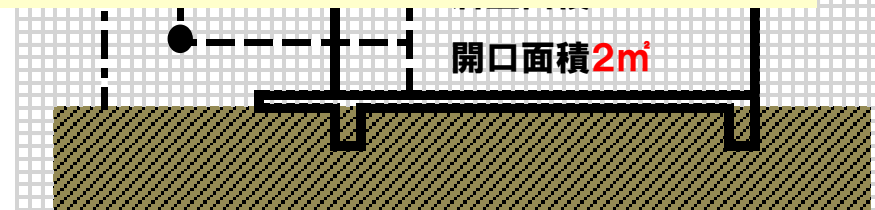
**計算ミス⇒修正は次頁参照**

注1) 道路

反対側にあるとみなされる。

注2) 公園等がある場合、隣地境界線が公園等

の距離の1/2だけ外側にあるとみなされる。



$$\text{採光補正係数} = (6/20) \times 6 - 1$$

# 有効開口面積の計算例(2021.7.28修正版)

## 有効開口面積の計算例

### ① 必要採光面積

居室面積  $7\text{m}^2$  より

$$7\text{m}^2 \times 1/7 = 1\text{m}^2$$

### ② 採光補正係数

採光補正係数(住居)より

$$(6/20) \times 6 - 1.4 = 0.4$$

### ③ 有効開口面積

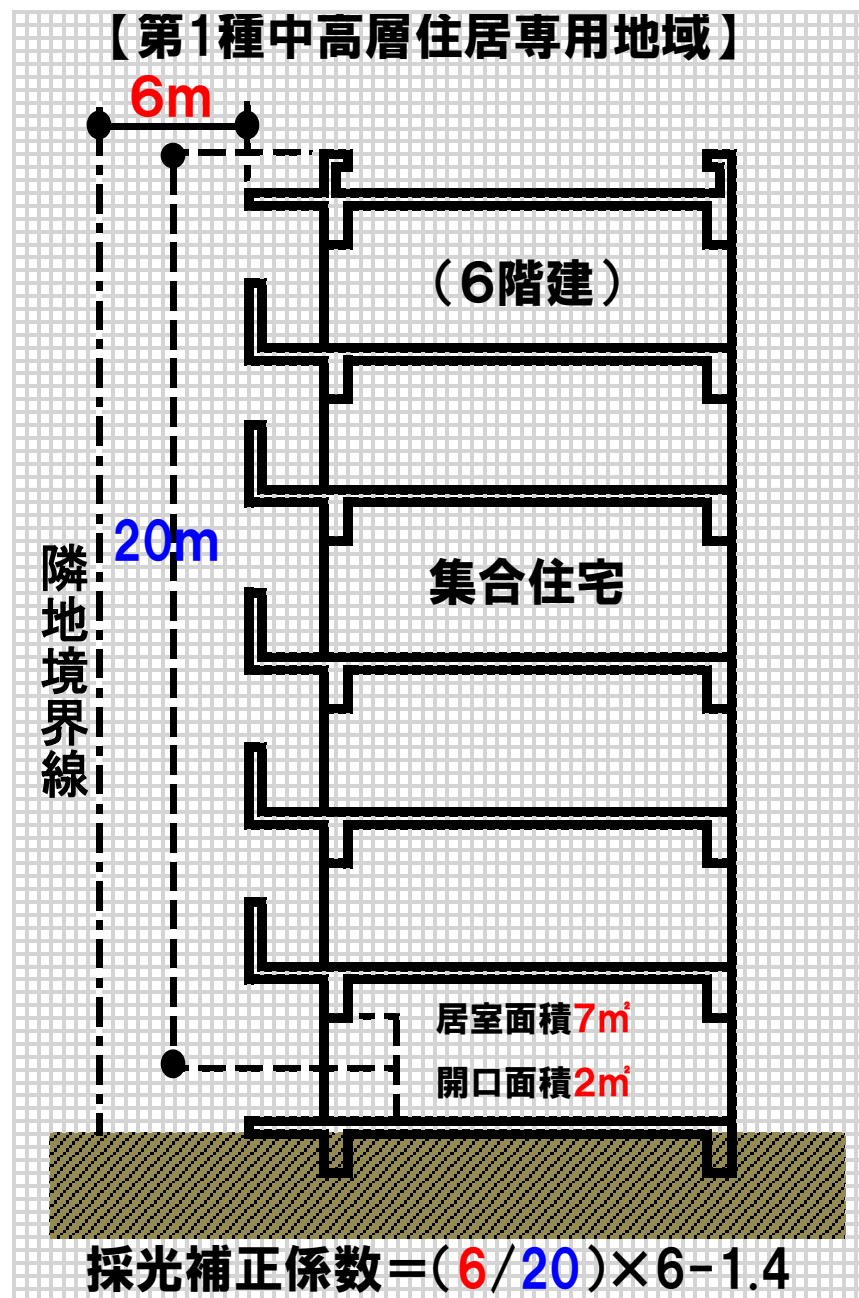
開口面積  $2\text{m}^2$  より

$$2\text{m}^2 \times 0.4 = 0.8 < 1 \text{ (必要採光面積)}$$

従って、隣地から  $6\text{m}$  では採光が確保できていない。  
参考まで、隣地から  $6.5\text{m}$  なら採光が確保できている。

**注1)** 道路に面する場合は、隣地境界線が道路  
反対側にあるとみなされる。

**注2)** 公園等がある場合、隣地境界線が公園等  
の距離の1/2だけ外側にあるとみなされる。



# 集合住宅の採光(1)

## 集合住宅の採光上必要な開口面積は**1/7以上**

採光		
建物用途	対象居室	有効採光面積/居室の床面積
住宅（ <b>共同住宅</b> の住戸を含む）	全ての居室	<b>1/7以上</b>

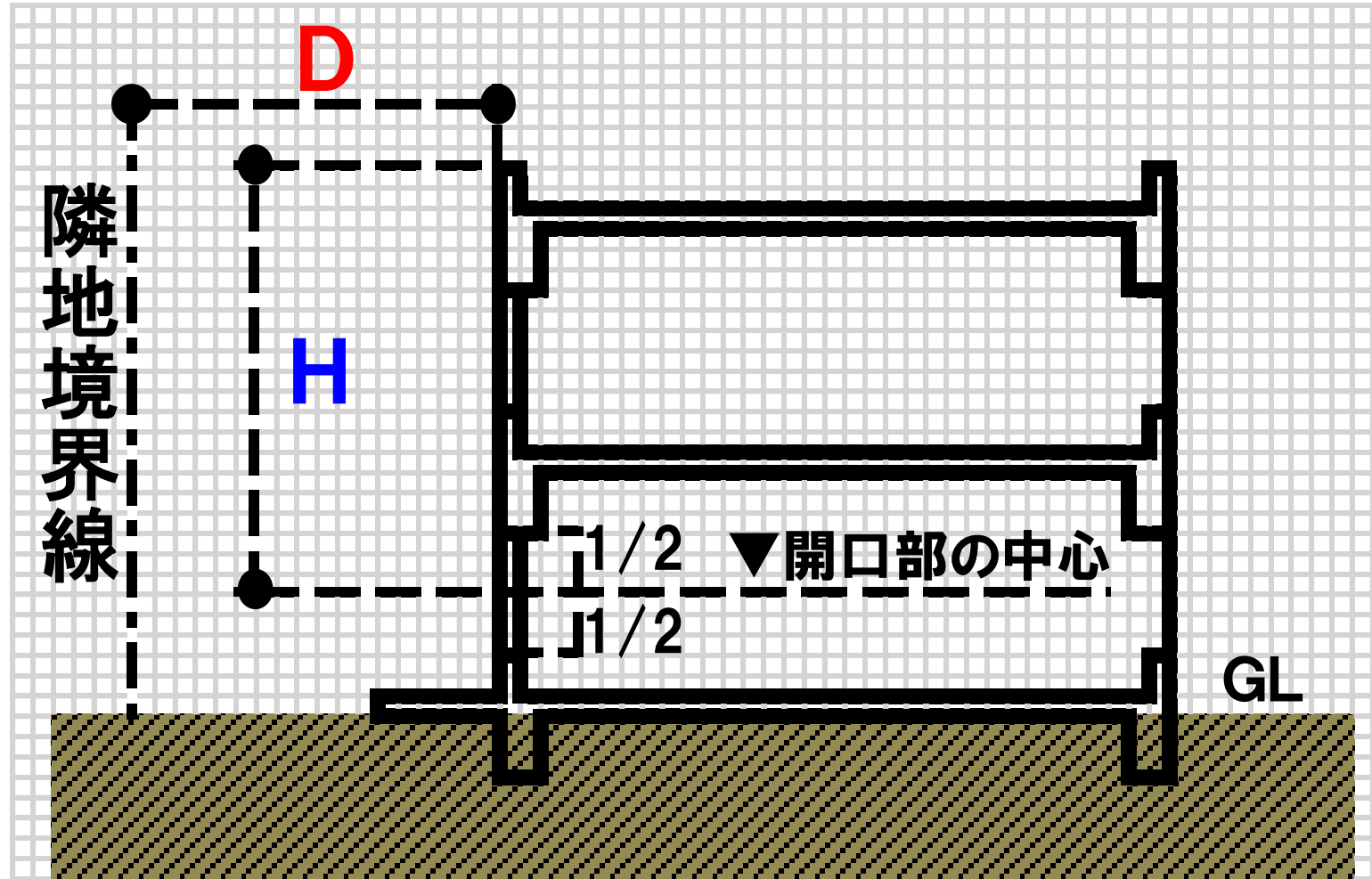
## 採光上有効面積の算定方法(**D/H**は次頁説明)

有効採光面積 = 開口部の面積 × **採光補正係数**

$$\text{採光補正係数} = (D/H) \times \mathbf{6-1.4}$$

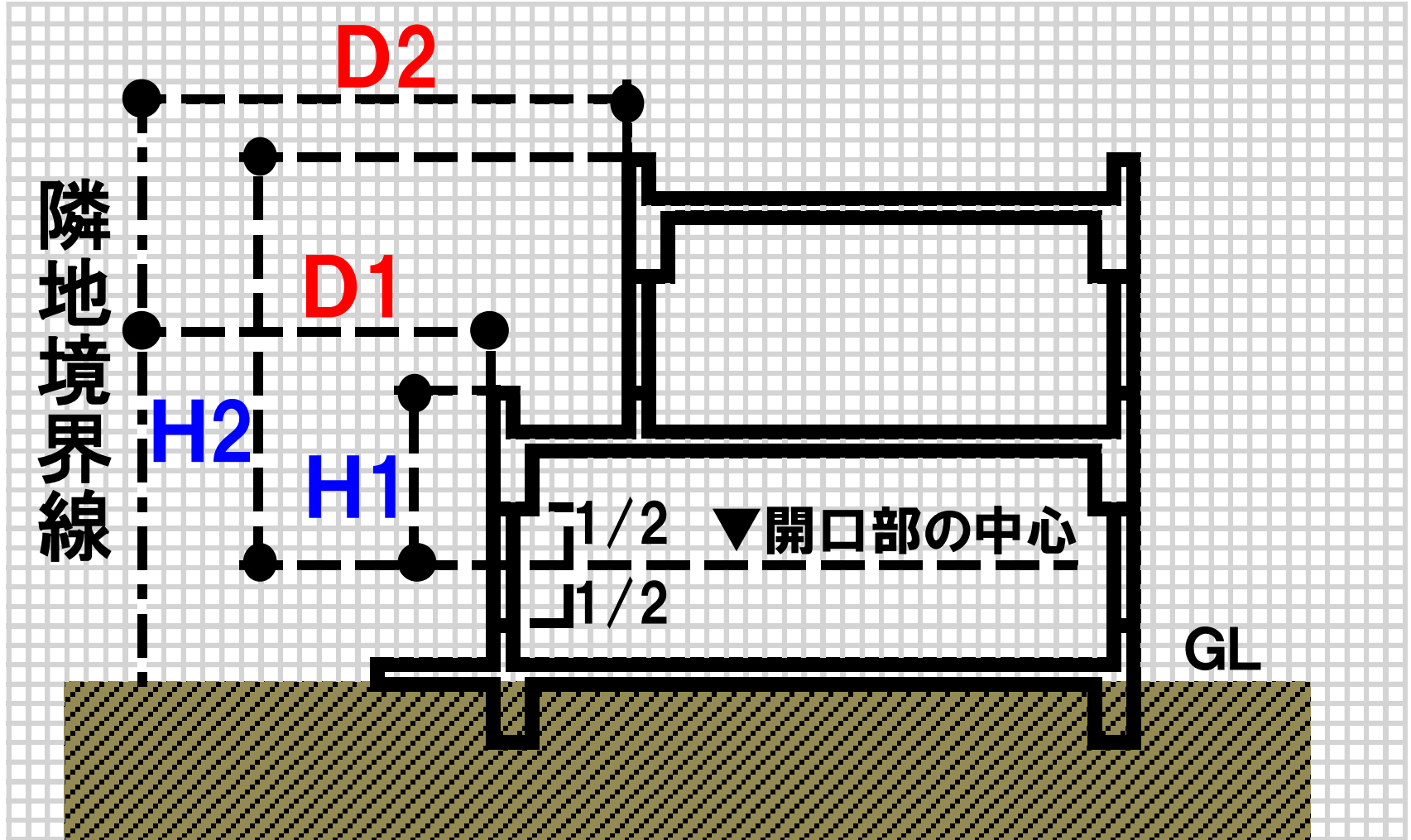
※**6**と**1.4**は、**住居系**地域で定められた数値

## 採光関係比率( $D/H$ )の基本



$$1 \text{ 階の開口部} = (D/H)$$

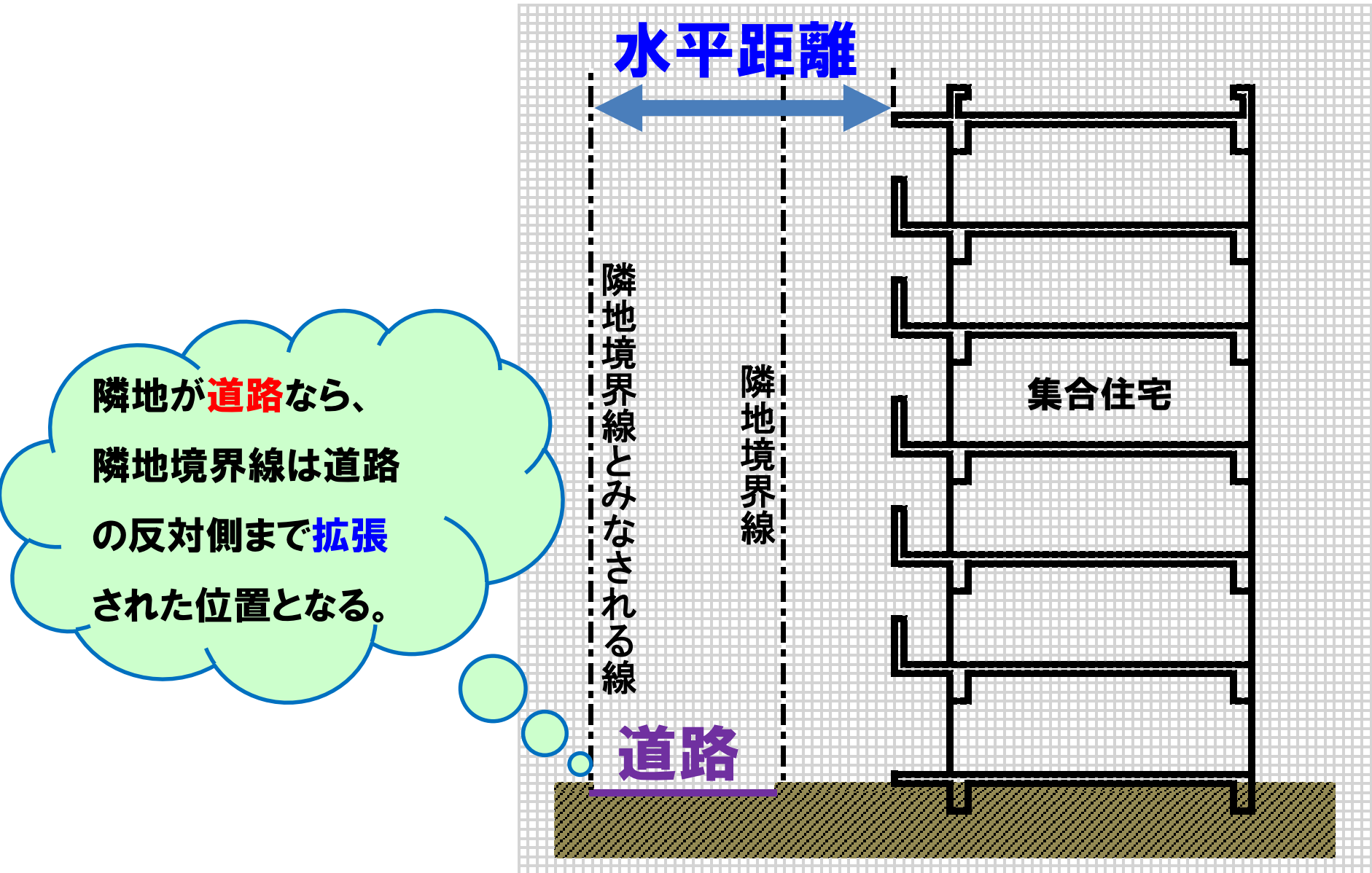
# セットバックの採光関係比率(D/H)



1階の開口部 = (D1/H1) と (D2/H2) で小さい方

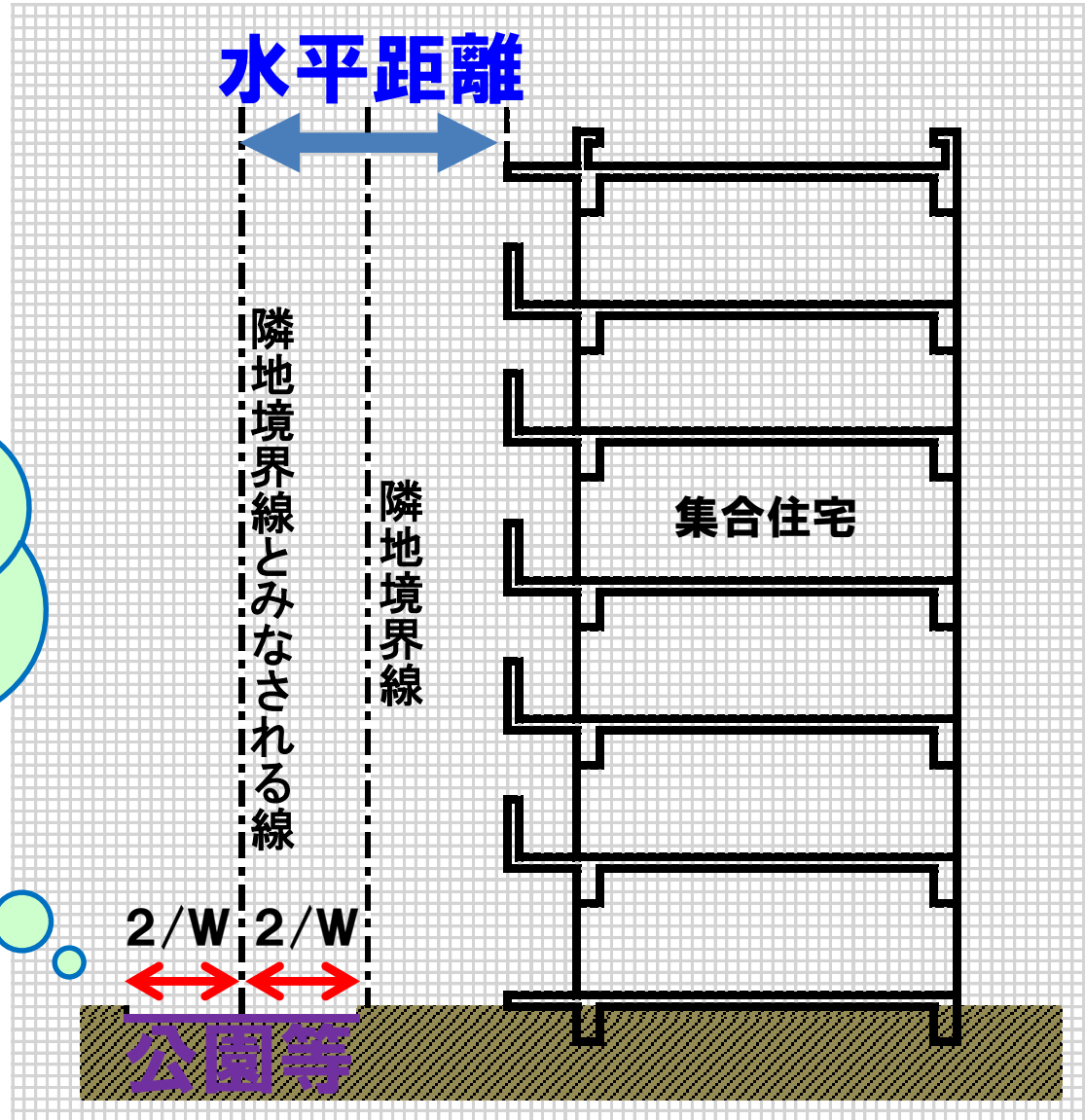
# 集合住宅の採光(4)

## 道路に面する場合 (集合住宅)



## 公園・水面・広場等に面する場合（集合住宅）

隣地が公園等なら、  
隣地境界線は公園  
等の1/2だけ拡張さ  
れた位置となる。

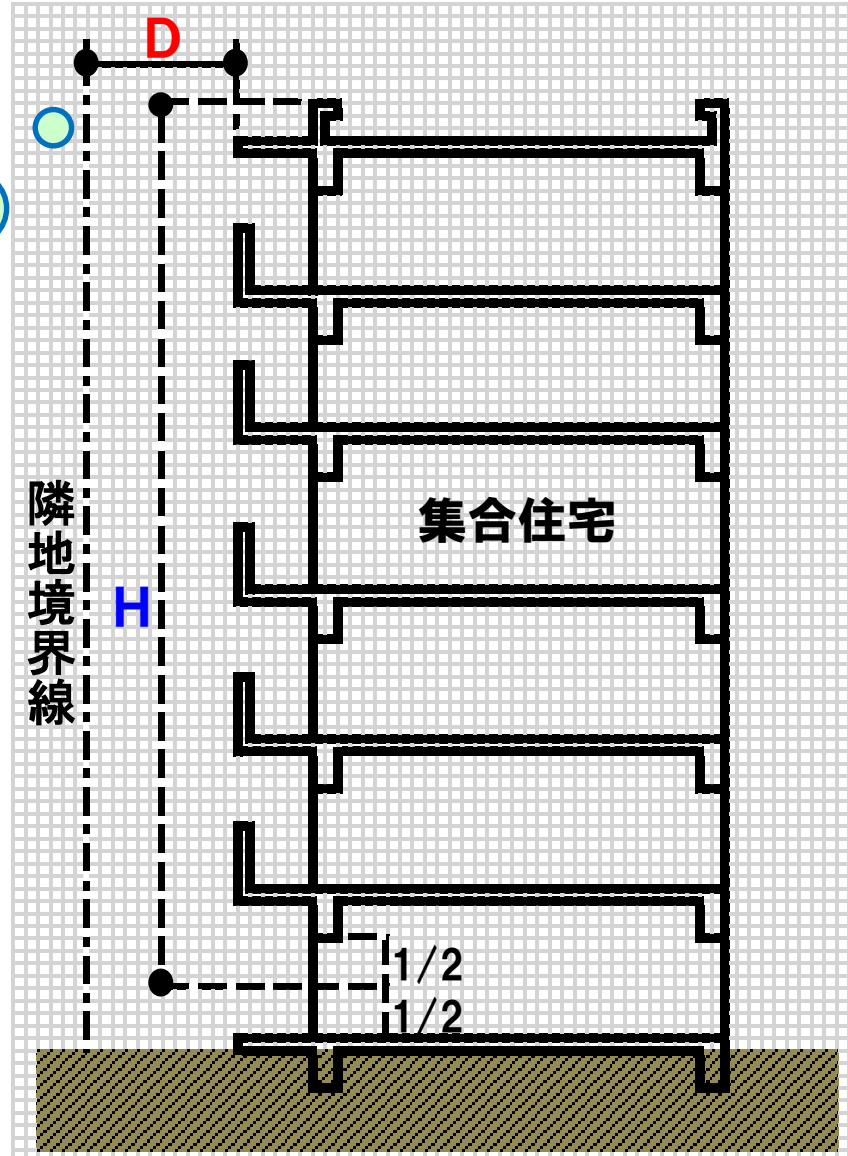




## 集合住宅の採光(6)

$$\text{採光補正係数} = (D/H) \times 6 - 1.4 \quad (\text{集合住宅})$$

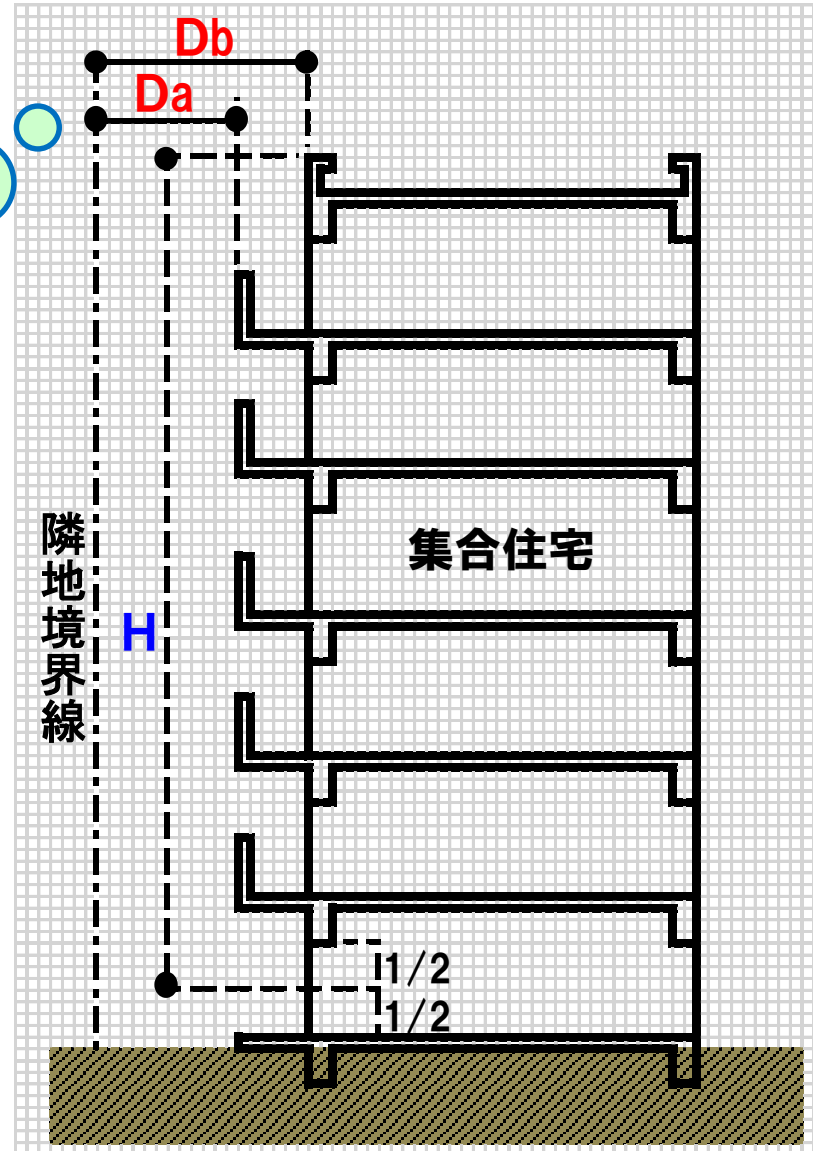
Hは、パラペット天端  
であり、Dは、外壁面  
先端であり、この図  
では最上階のひさし  
先端です。



## 集合住宅の採光(7)

$$\text{採光補正係数} = (D_a / H) \times 6 - 1.4 \quad (\text{集合住宅})$$

この場合のDは、**D<sub>a</sub>**が正解です。1階の採光は、**2階の影響**を受けるので、2階のバルコニーより、Dは、バルコニー先端距離の**D<sub>a</sub>**が適用されます。



## セットバックの採光関係比率(D/H) (集合住宅)

セットバックしている場合は、 $D1/H1$ と、 $D2/H2$ の両方を計算して小さい方で判断します。

